

こだわってこだわって 古民家風のLDKに

Yさんの希望は「古民家風のリビング」。柱や梁はすべてアンティークブラウンに塗りました。自然素材を使った塗料をブレンドし、Yさんが納得のいく色を作ったオリジナル。時間がたっても塗装があせないように、でも、木目がきちんと生かされる塗りは職人ならではの技。壁は調湿作用のある珪藻土で、陰影や味わいが出るよう木コテ仕上げ。

可児市・Yさん邸

地元、東濃の材料を
盛り込んだ温かな家
施主さんのとことんまでの
こだわりを形に

撮影協力 / 万寿実家具



ご主人の希望 プラスアルファを 叶えた寝室

ヘリのない琉球畳と東濃ヒノキを使ったご主人のための書斎スペース。弘栄工務店のモデルハウスを見たときからのご主人の希望だったそう。収納スペースもプラスして寝室に作りつけました。

匠の技と 監督のアイデアが 随所に光る玄関

リクエストは「和風の玄関」。床は松の源平を用いて高級感を出し、大きな一枚窓の前に作ったたれ壁に間接照明を仕込み、手前に竹を渡したのは現場監督のアイデア。(右)下駄箱横に棟梁オリジナルのスリッパ収納を手作り。柱1本分の厚みの中にスリッパ5足がすっぽり納まり、出し入れしやすい角度にこだわった匠のスコ技です。



たっぷり備えた 収納部分まで 全部無垢材を使用

寝室や子供部屋すべてに備えられた広いクローゼットにも、すべて無垢材を使うという贅沢。木の家にこだわる弘栄工務店が手がけるからこそ、材料の調達や在庫の使い方の工夫でそれが叶うのです。

美濃焼きの 手洗い鉢に 心むとトイレ

杉の一枚板の天板に、美濃焼の手洗い鉢を設えました。美濃焼伝統工芸の真山窯さんが1つ1つこだわって手づくりしている作品です。



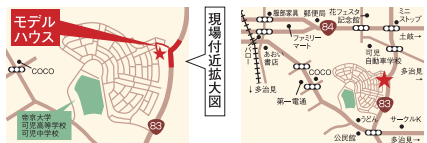
随所に感じられる 職人の心意気

階段の手すりは松。角の滑らかさをご覧あれ。丁寧に手作業でやすりをかけたからこそその美しさ。(左)少し高いところにある小窓の開閉に便利ようと、余った木材で奥様のための踏み台を作る、棟梁の粋な計らい。

株式会社 弘栄工務店

☎ 0574-63-3939 HP / <http://www.kouei-net.jp>

住所 / 「モデルハウス」 可見市桂ヶ丘2-480-5 「営業所」 可見市下恵土6026
営業 / 10:00~17:00 火・水・木曜日は予約制 0574-63-3939まで



リビングは古民家風の温かい雰囲気、子ども部屋や主寝室となる2階は明るく、マイホームには細かな希望やこだわりを持っていました。そんなYさんの要望は材料・デザイン、施工を通して一つひとつが現実になり、「引き渡してからまだ数日で引越す前なのですが、期待以上の仕上がりで、住んじやうののもったいないくらい」と大満足の様子。人に優しい住まいにこだわり、施主目線に立った職人さんが仕事をする弘栄工務店の信頼感が、Yさんの理想の家をつくり上げたようです。

安心の自然素材と 信頼の職人技

木をふんだんに使った家に住みたくて、モデルルームに足を運ぶうち、弘栄工務店の家づくりに関心を持ち、「家を建てるなら弘栄工務店で」と決めていたYさん。家を建てるのが現実になったとき、迷わず弘栄に発注しました。「自然素材にこだわり、一流の職人さんが造ってくれて、ごうちの希望をとことん聞き入れてくれる、そんなところが弘栄さんの魅力でした」と振り返ります。